

世代交代。

12年ぶりの
選択

真実一路

小泉勝のプロフィール

1968年5月9日生まれ(50歳)

趣味/相撲、柔道、まちづくり

好物/ラーメン、カレーライス

母・妻・長女・長男・次女

1988年 県立見附高等学校 卒業

1990年 専門学校中野スクールオブビジネス 卒業

1990年 米国テキサスウェズリアン大学 語学留学

1992年 カナダパシフィックランゲッジスクール 語学留学

1994年 JICA青年海外協力隊参加(イエメン共和国・シリア共和国)

2006年 見附市議会議員 初当選

2008年 見附青年会議所第39代理事長

2014年 放送大学教養学部 卒業

2016年 見附市議会 第29代議長 就任

2018年 見附市議会議員 4期目当選



小泉

こいずみ

勝

まさる

第29代見附市議会議長を務めた実績

県政への挑戦

見附市議会議員として4期 13年、「議員は市民の御用聞き」をモットーに、現場を歩いて市民の声を聞き、市政に反映させるべく全力を尽くしてまいりました。

しかし今の新潟県政に目を向けると、果たして県民の声が届いているのか、残念ながら疑問を持たざるを得ません。

長老が支配する閉塞的な県議会を一新し、開かれた県政を実現するためには、見附市でも世代交代のうねりを起こしていかなければなりません。

私は見附市民の代弁者として、皆さんの声を届けるために、県政に挑戦する決意を固めました。

次の世代に繋ぐふるさとを市民の皆さんと共につくりあげ、市民・県民の幸せの為の議員として、「真実一路」全力を尽くす覚悟です。

小泉勝を県政に送る会

〒954-0046 見附市双葉町2-4

(株式会社マルコー内)

TEL:0258-62-1265

FAX:0258-62-7078

Eメール:kongetukoyoi@yahoo.co.jp

内部討議資料



中面もご覧ください

住んでよかったと思える私たちの地域をめざします

次世代を担う子どもたちのために、子育て支援と教育環境の充実に取り組むとともに、地域医療や高齢者サポートなど医療、福祉、教育の基本的な生活領域で誰もが自分らしくふつうに暮らし、住んでよかったと思える新潟をめざします。

行ってみたいくなる魅力ある新潟をめざします

新潟県の魅力を売り出しながら観光への取り組みを加速させ、県内の交流人口を盛んにするとともにインバウンドも含めた観光振興に取り組めます。

安心して暮らせる、安全なまちづくりをめざします

地域のコミュニティの再興と自助、共助、公助を基本とした、まずは命を守るための災害対策に全力で取り組みます。東京電力柏崎刈羽原発については、現在進められている「三つの検証」がなされない限り、再稼働の議論は行いません。

産業振興と雇用創出、地域の活性化につとめます

産業振興と起業支援、中小企業の海外展開、そして農業を全力で支援します。新潟県版の「農家戸別所得補償制度」を導入し、次世代の担い手育成と地域の活性化を応援します。

スポーツを通じた人材育成と健幸施策に取り組みます

スポーツを通して未来を担う人材を育成するとともに、「健幸づくり」とコミュニティづくりを応援します。2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機にスポーツイベントを盛り上げます。どんな条件にあっても、子どもたちがスポーツに打ち込める環境の整備に努めます。

議会を一新する

見附市民の代表として、代弁者として、広く分け隔てなく市民の声に耳を傾け、利益誘導、長老支配の県議会を若い力で変えます。議員は市民の御用聞き！情報収集に『歩く』『聞く』『見る』、現場で汗をかきます。

推薦の言葉



「こどもたちの未来を託したい」 柴嶺 哲

2020年、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツへの関心がますます高まっています。スポーツは、子どもたちや若者の心身の鍛錬、健全育成、活力ある健全な社会の形成に大きく貢献しています。

小泉さんは、相撲や柔道の指導者として熱心に子どもたちを指導して、何事にも誠心誠意向き合って来られました。その真摯な態度を見て、新潟県の未来、見附市の発展を託すことができる人物と強く確信しています。

皆様と共に、世代交代の旗のもと、県政の場に小泉さんを送りたいと思います。皆様の心からのご支援をお願いいたします。